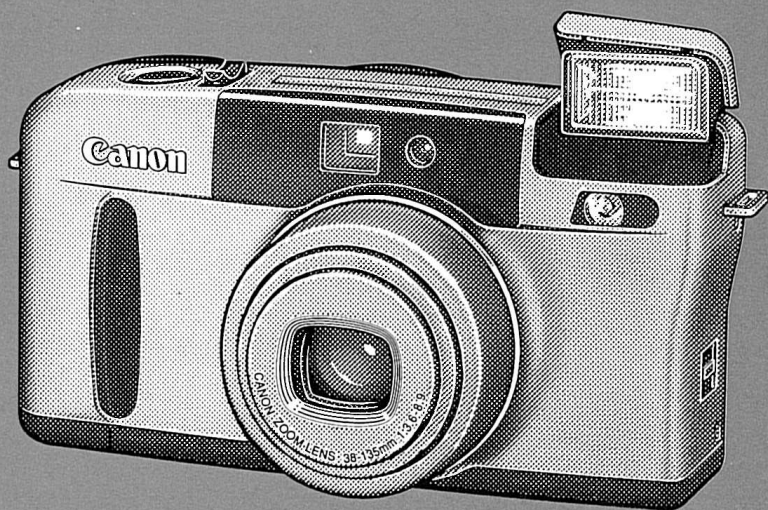


Canon

Autoboy S II XL



はじめに

基本編

活用編

応用編

資料編



J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例
行為を禁止する記号



禁止





接触禁止

○記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

○の中に具体的な禁止内容が描かれています。

警告 (電池)

- このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。 
- 新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。また、違うメーカー、違う種類の電池を混ぜての使用はしないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。 

⚠ 警告 (電池)

● 電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



● アルカリ電池、リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



● 電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



● 万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。






● 電池を廃棄する場合は、接点部をセロハンテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。







● 電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。





⚠ 警告 (ストロボ)

- ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。 
- 車の運転者等にむけてのストロボ発光をしないでください。事故の原因となります。 
- ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。 






⚠ 警告 (その他取り扱い)

- 自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。 
- 落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 
- カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。 
- カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。 

⚠ 警告 (その他取り扱い)

- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。 
- 自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。 

⚠ 注意 (その他取り扱い)

- カメラ (特にアルミ製のもの) を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。 
- カメラ (特にアルミ製のもの) を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。 
- カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。 
- カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。 
- 万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。 

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、活用編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて



カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。



カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれています。





はじめに

安全上のご注意	2
目次	6
操作早わかり（すぐに撮りたい方へ）	8
カメラの構え方	9
シャッターボタンについて	9
各部の名称	10
ファインダー内の名称	12
カメラケース・ストラップの取り付け方	13





基本編

① 電源を入れる（電池をチェックする）	14
電池の交換	15
② フィルムを入れる	16
③ 全自動で撮影する AUTO	18
写したいものの大きさを変える	19
ガラス越しの撮影について	19
フィルムの巻き上げ、巻き戻しの音を小さくする S-AUTO	19
ストロボオート／赤目緩和	20
（暗いときは自動的に赤目緩和ランプを点灯し、ストロボを発光させる）	
緑ランプ・オレンジランプについて	21
④ フィルムを取り出す	22

活用編

- ベストショットダイアルを使って撮る23
-  動いているものを撮る (アクションマーク)
 -  夜景をバックに人物を撮る (夜景マーク)
 -  人物をアップで撮る (ポートレートマーク)
 -  近づいて大きく撮る (クローズアップマーク)
 - SPOT** 極端に明るいもの、暗いものを撮る (スポットマーク)

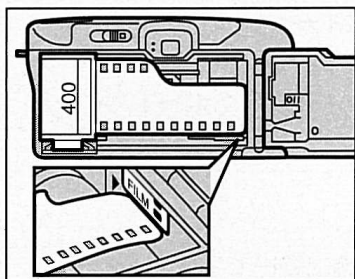
応用編

- フォーカスロック撮影29
(写したいものをファインダーの端に置いて撮影する)
- セルフタイマー／リモコンモード 30
- リモコンで撮影する30
 - リモコンの電池交換31
 - セルフタイマーで撮影する32
- 露出補正モード (手動で露出補正／逆光補正をする) ...33
- 日付／時刻を写し込む **DATE**34
- 日付／時刻をセットする35
- メッセージを写し込む **CAPTION**36
- 各国語のメッセージを写し込む37
- ストロボと赤目緩和モードを変える38
- 赤目緩和撮影機能について39
 - ストロボONモード  (明るい場所でストロボを発光させる)
 - ストロボOFFモード  (暗い場所でもストロボを発光させない)
 - スローシンクロモード  (暗い場所で背景まで写し込む)
- パノラマモード撮影42
- パノラマプリントについて43

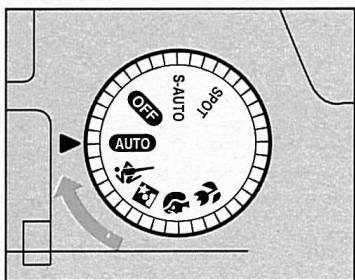
資料編

- 資料44
- AiAF機能について44
 - 一点測距の設定について44
 - こんなときは45
 - 主な仕様46
 - アフターサービスについて裏表紙

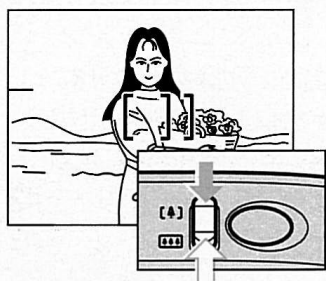
操作早わかり(すぐに撮りたい方へ) 詳しく



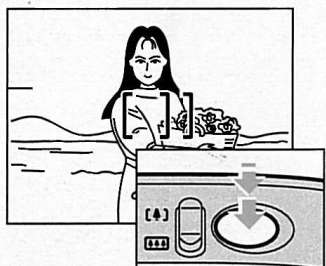
- ① フィルムを入れる。
→16ページ



- ② ダイアルを **AUTO** に
合わせる。
→18ページ
→電源が入ります。
(メインスイッチオン)



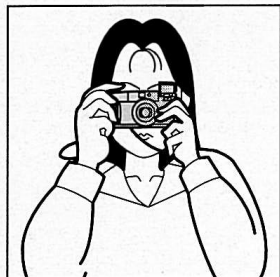
- ③ 写したいものの
大きさを決める。
→19ページ



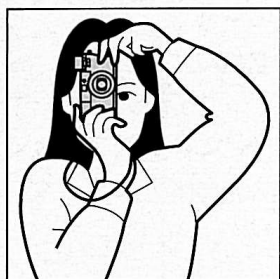
- ④ 構図を決め、シャッター
ボタンを押す。
→18ページ

は説明のページをご覧ください。

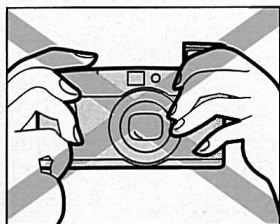
カメラの構え方



- シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかりと構えて撮影します。

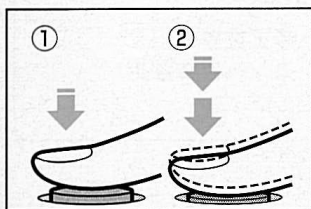


- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



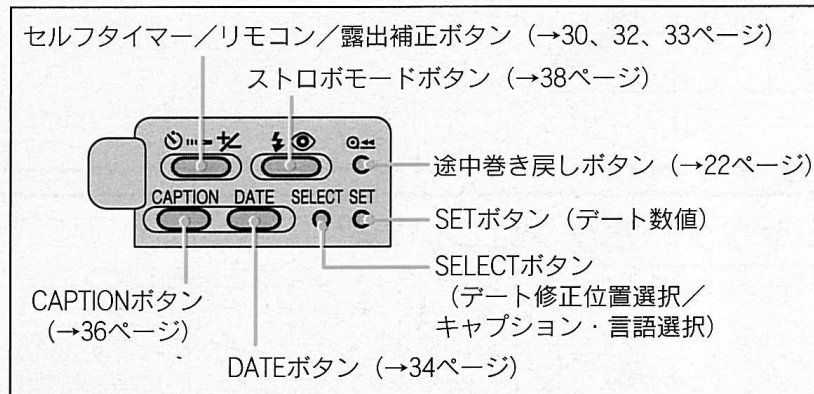
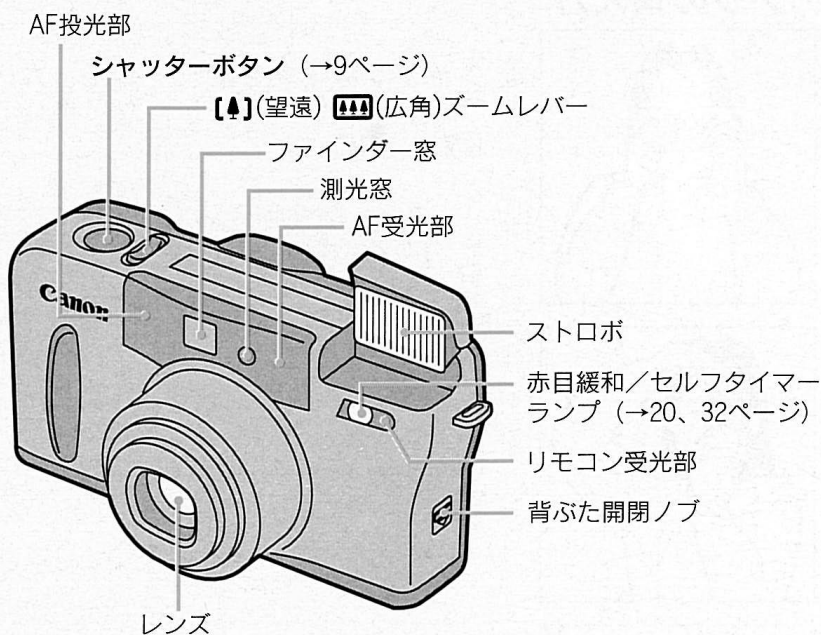
- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光部、AE受光部、ストロポなどに髪や指がかからないように注意してください。

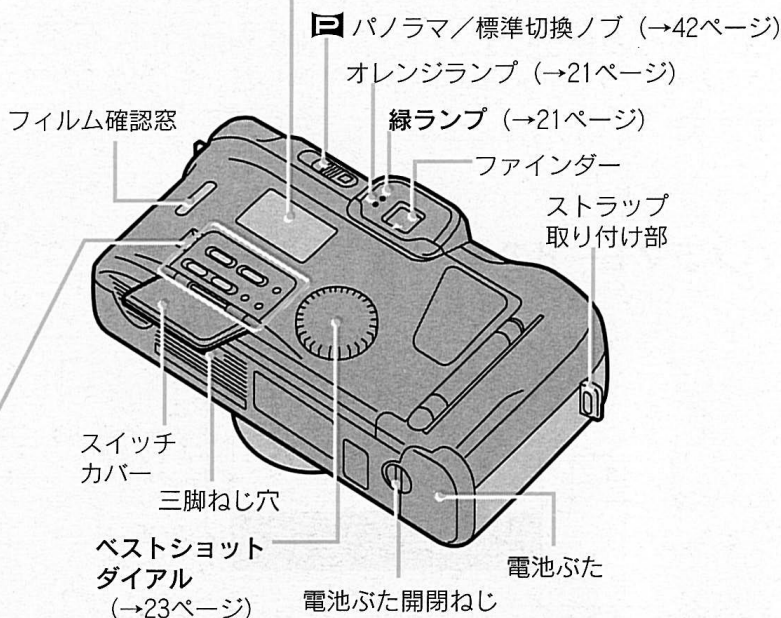
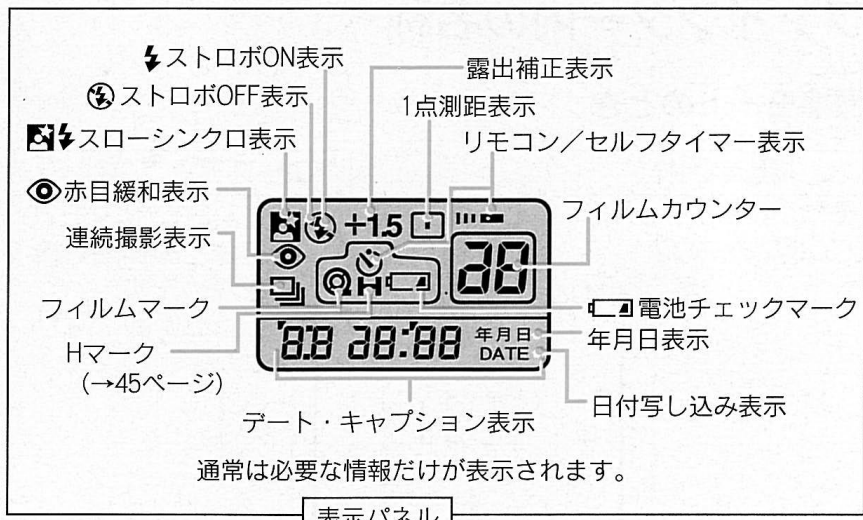
シャッターボタンについて



シャッターボタンは二段階になっています。軽く押すとピントが合い (①)、さらに押すとシャッターが切れます (②)。シャッターボタンはゆっくり静かに押ししてください。

各部の名称





ファインダー内の名称

標準モードのとき

撮影範囲枠

通常の撮影は、この枠内で構図を決めます。

クローズアップフレーム

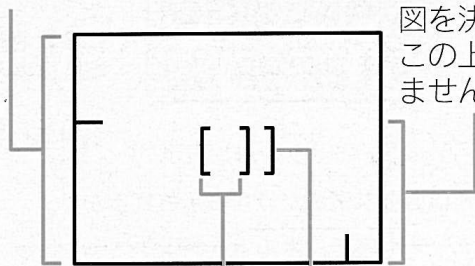
撮影距離が0.4~1mのときはこの枠内で構図を決めます。この上の範囲は写りません。

AFフレーム

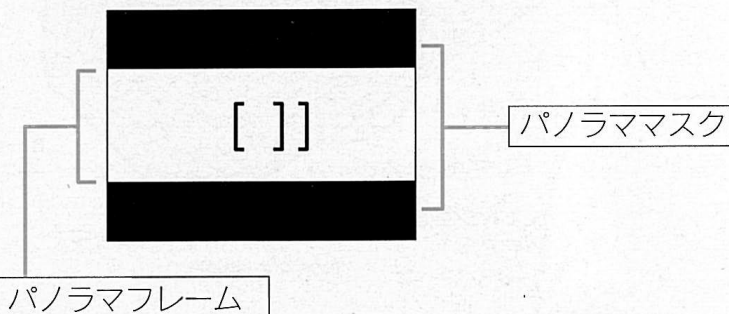
ピントを合わせ写したいものをこのマークに合わせます。

クローズアップAFフレーム

撮影距離が0.4~1mのときは写したいものにこのフレームを合わせます。



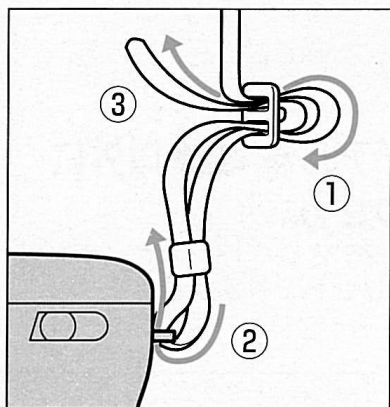
パノラマモードのとき



パノラマ撮影のときはこの枠内で構図を決めます。

カメラケース・ストラップの取り付け方

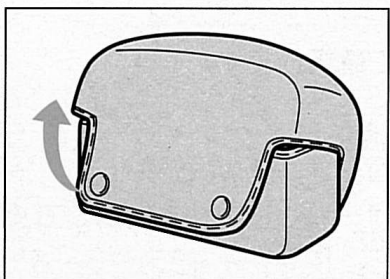
ストラップの取り付け



左右のストラップ取り付け部にストラップを通す。

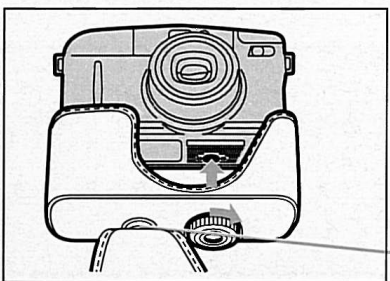
●①～③の順に通します。

カメラケースの取り付け



① ケース裏のスナップをはずす。

● ケース上部内側のポケットにリモコンを収納できます。

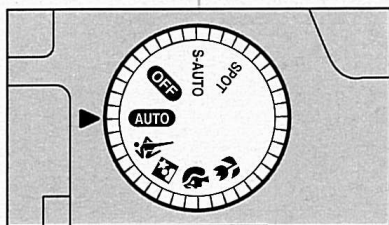
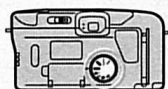


② カメラをケースに収め、三脚ねじ穴に、ケースのねじを締める。

ケースの上部は取り外せます。

1 電源を入れる (電池をチェックする)

ベストショットダイヤルをOFF以外に合わせると、電源が入ります。撮影の前やお出かけの前には必ず電池をチェックしてください。



ダイヤルを **OFF** 以外に合わせる。

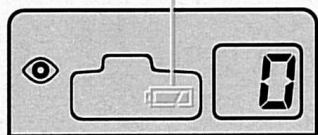
→電源が入り、レンズとストロボがセットされます。






● レンズははじめ広角38mmにセットされます。

電池をチェックする

表示パネルの電池チェックマークで確認します。




電池チェックマーク

- …電池は使用できます。
- …新しい電池を用意してください。(点灯) ださい。
- …新しい電池と交換してください。(点滅) ださい。(→15ページ)

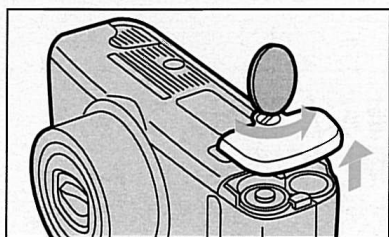


- 旅行のときや、写真をたくさん撮るときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- 24枚撮りのフィルムで17本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が目安です。

電池の交換

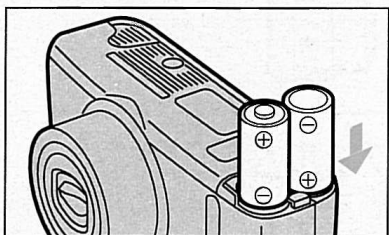
表示パネルに  が点滅したときは、2個同時に新しい電池と交換してください。

[使用電池]リチウム電池 (CR123AまたはDL123A、3V) 2個使用



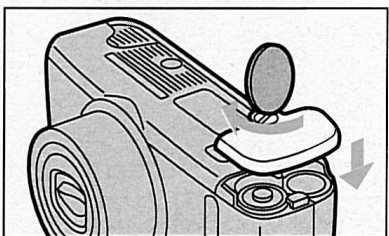
① 電池ぶたを開く。

- コインなどを使ってねじをゆるめます。




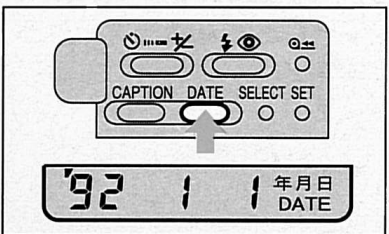
② 新しい電池を入れる。

- 古い電池を取り出します。＋を正しく合わせて新しい電池を入れます。



③ 電池ぶたを閉じる。

- 電池ぶたを閉じ、ねじをしめます。
- ➔ 表示パネルに  が表示されます。

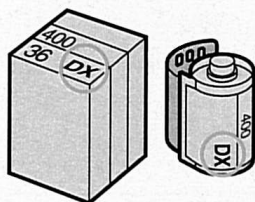


④ 日付と時刻を合わせる。

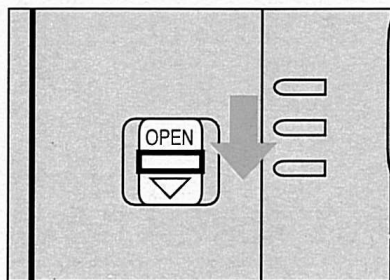
→35ページ

- ➔ 表示パネルの日付が「'92 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。

2 フィルムを入れる

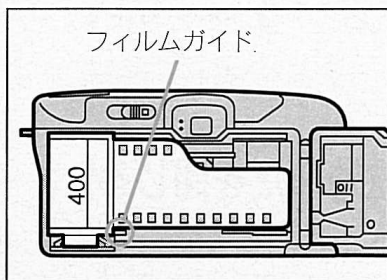
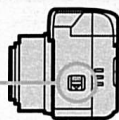


- DXマークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。
- フィルム感度ISO400をおすすめします。



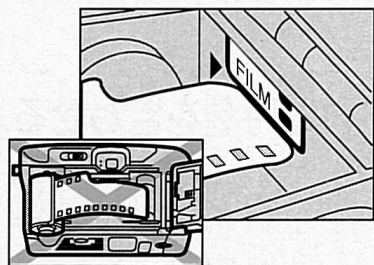
1 背ぶた開閉ノブを押し下げる。

→ 背ぶたが開きます。



2 フィルムを入れる。

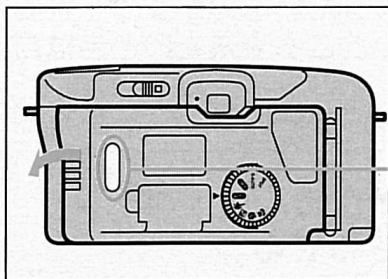
- フィルムガイドの間に正しく合わせます。



3 マークの位置までフィルムを引き出す。

- フィルムがたるまないように引き出します。

4 背ぶたを閉じる。

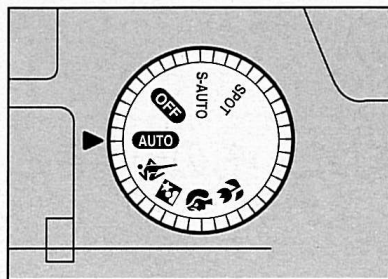


フィルムが入っていることを確認
できます。

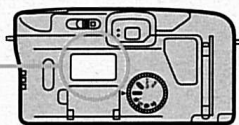
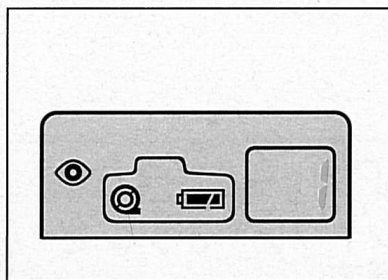
5 ダイアルを **AUTO** に 合わせる。

(電源を入れる)

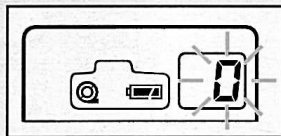
→フィルムが送られます。



6 フィルムカウンターに 「1」が表示される。



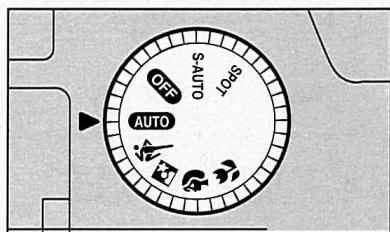
- フィルムカウンターの「0」が点滅するときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。
- リバーサルフィルムで撮影するときは、DXマーク付きのフィルムISO 25、50、100、200、400、800、1600、3200のものを使用してください。



3 全自動で撮影する

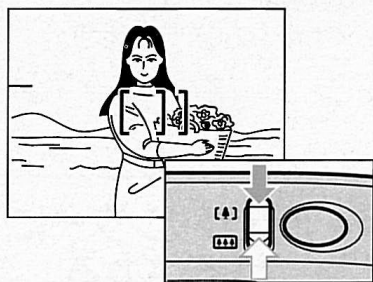
AiAF機能ですから、中央部から写したいものが多少ずれてもピントが合います。また、暗いところや逆光のときは自動的にストロボが発光します。

AiAF機能について →45ページ



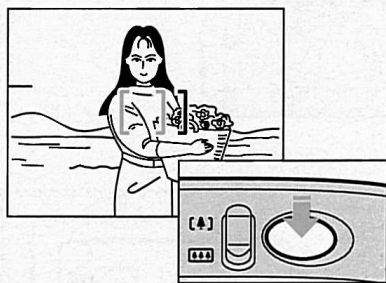
1 ダイアルを **AUTO** に合わせる。

→電源が入り、レンズとストロボがセットされます。



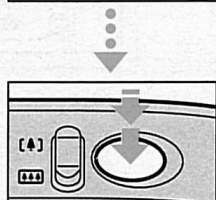
2 写したいものの大きさを決める。

→ファインダーをのぞき、ズームレバーを押して構図を決めます。



3 AFフレームを合わせシャッターボタンを押す。

●緑ランプが点灯したことを確かめます。



→シャッターが切れます。
●暗いところではオレンジランプが点灯し、ストロボが自動的に発光します。

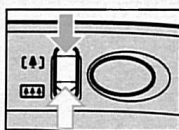
写したいものの大きさを変える (ズームレバー)

広角側



広い範囲を写したいとき

望遠側



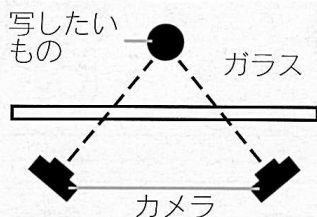
写したいものを大きく
写したいとき



- ズームレンズ (鏡筒) は繰り出されたまま約3分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され、広角38mmに戻ります。

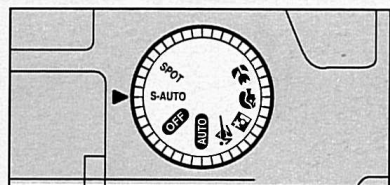
ガラス越しの撮影について

- ガラス越しで撮影するときは、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影してください。



フィルムの巻き上げ、巻き戻しの音を小さくする

静かな場所で撮影するときに効果的な機能です。その他の機能は **AUTO** と同じです。



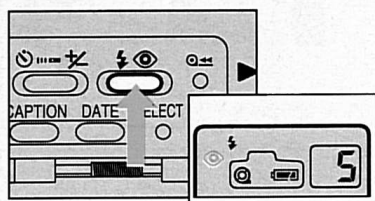
ダイヤルを S-AUTO に合わせる。

- 巻き戻し中でも音を小さくできます。

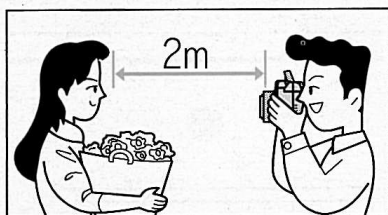
ストロボオート／赤目緩和……………

暗い場所で人物を撮影するときは赤目緩和撮影をおすすめします。ストロボ発光前に赤目緩和ランプを点灯させることで赤目現象の発生を緩和します。(→39ページ)

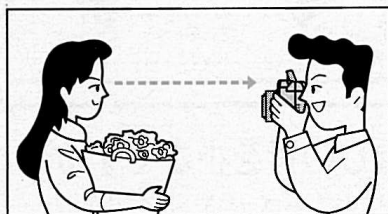
撮影のポイント



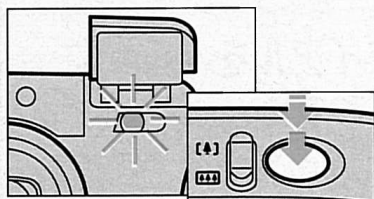
- 1 ストロボモードボタンを押して  を表示する。



- 2 写したいものに2m程度まで近づく。
●赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



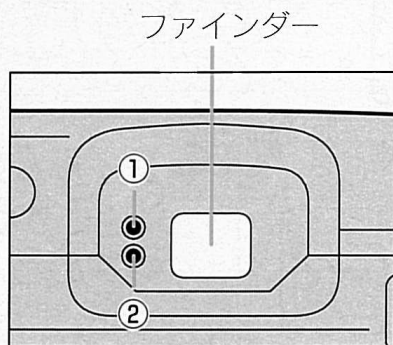
- 3 声をかけてカメラを注視してもらう。
●写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。



- 4 シャッターボタンを押す。
→赤目緩和ランプが点灯し、1秒後にシャッターがきれます。

緑ランプ・オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



- ① 緑ランプ
 - 点灯……………ピント合わせ完了 (撮影準備完了)
 - 点滅……………近距離警告※1
- ② オレンジランプ
 - 点灯……………ストロボ発光
 - 点滅……………手ぶれ警告 (ストロボOFF時) ※2

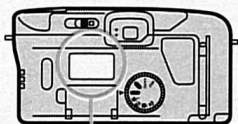


※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。

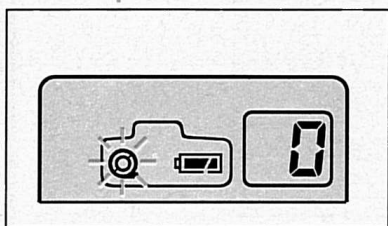
※2 ● 手ぶれ警告が出たら、三脚などの使用をおすすめします。

4 フィルムを取り出す


フィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻ります。

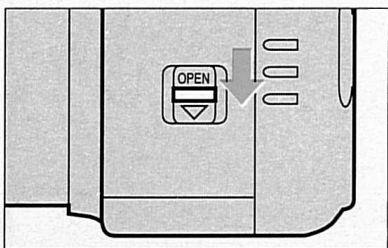


巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。フィルムカウンターが「0」になり、巻き戻しが終わってからフィルムを取り出してください。



1 フィルムカウンターが「0」であることを確かめる。


→  フィルムマークが点滅します。

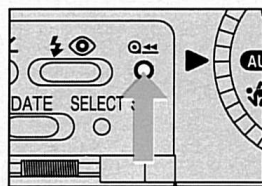


2 背ぶた開閉ノブを押し下げる。

→ 背ぶたが開きフィルムが取り出せます。

フィルムを最後まで撮り終える前に取り出すには

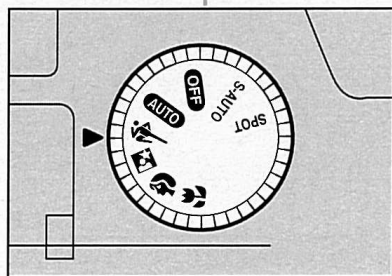
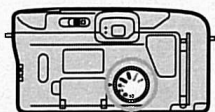
- フィルム途中巻き戻しボタン  を押します。



- 背ぶたを開ける前に必ずフィルムカウンターが「0」であることを確かめてください。「0」でないときは、途中巻き戻しボタンを押してください。
- 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。また、日付や時刻の写し込みがされない場合があります。

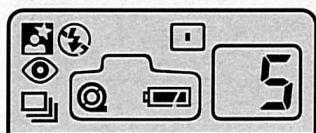
ベストショットダイヤルを使って撮る

写したいものに合わせてダイヤルを回すだけで自動的に最適なAFモード、ストロボモードなどがセット（→46ページ）され、手軽に良い写真を撮ることができます。



ダイヤルを回して
写したいもののマークに
合わせる。

→表示パネルで確認できます。



パネル表示について

（ダイヤル毎の表示組み合わせは46ページをご覧ください。）

パネル表示	名称	機能の説明
	赤目緩和表示	ストロボ撮影時、約1秒間赤目緩和ランプが点灯後、シャッターがきれます。
	ストロボOFF表示	ストロボは発光しません。
	ストロボON表示	ストロボは発光します。
	スローシンクロ表示	ストロボが発光し、シャッタースピードは遅くなります。
	1点測距表示	中央部1点にピントが合います。
	連続撮影表示	シャッターボタンを押している間、連続撮影（最高1コマ/秒）します。

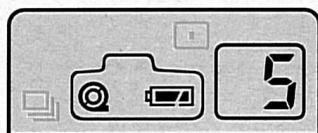
👉 動いているものを撮る アクションマーク



動いているものを撮るのに効果的な機能です。動きのあるものに連動してピントを合わせるサーボオートフォーカスと、連続撮影ができる連写機能があります。



①



撮影のポイント

- シャッターボタンを軽く押しながら、AFフレーム①を動くものに合わせて追いつけます。シャッターチャンスがきたら、さらにシャッターボタンを押してください。(約40秒間ピントが合い続けます。)
- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影ができます。



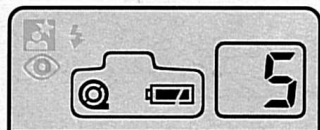
- 暗いときや逆光のときは、自動的にストロボが発光します。
- シャッターチャンスを逃さないように赤目緩和機能ははたらきません。
- 緑ランプとオレンジランプは点灯しません。
- 📸 マークに合わせると、フィルムの巻き戻しのスピードが通常より速くなります。


ベストショットダイアルを使って撮る

夜景をバックに人物を撮る ... 夜景マーク




夜景をバックに人物を撮るのに効果的な機能です。ストロボの光が人物にあたり、4秒までの低速のシャッタースピードで夜景を写し込みます。



-  が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます (→39ページ)
- このマークでは手振れの警告表示は出ませんが、必ずカメラをしっかりした台の上に置くか三脚を利用してください。
- シャッタースピードが遅く (最長約4秒) になりますので、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにするときれいに撮れます。

夜景だけを撮るときは

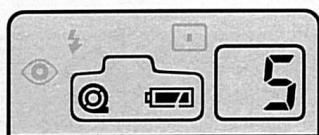
- ストロボの発光を止めること  により効果的な写真が撮れます。詳しくは応用編をご覧ください。(→40ページ)

人物をアップで撮る ポートレートマーク

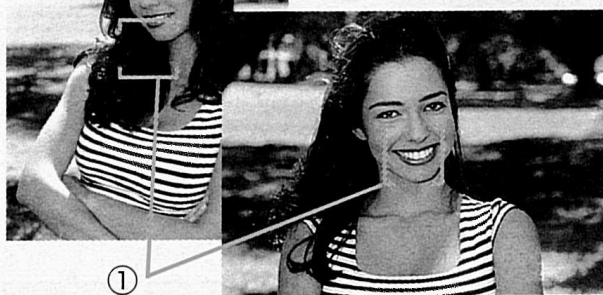


人物をアップで撮るのに効果的な機能です。人物の上半身が入るように自動的にズーミングし、目に輝き（キャッチライト）が入るように常にストロボが発光します。

ウエストアップ




バストアップ



撮影のポイント

●人物にAFフレーム①を合わせて撮影してください。



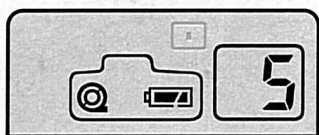
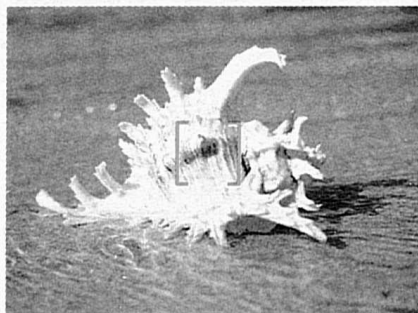
-  が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます（→39ページ）
- 写したいものから1~3.5mの範囲で自動的にズーミングします。また、自動的にズーミングした後、ズーム調整することができます。
- ポートレートモードでは、標準フルサイズ撮影を前提に撮影範囲を設定していますので、パノラマモードでの撮影はおすすめできません。

ベストショットダイヤルを使って撮る

近づいて大きく撮る クローズアップマーク



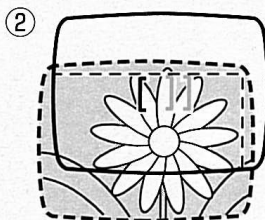
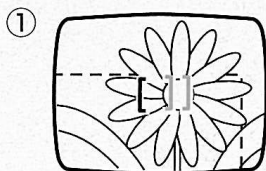
草花など身近なものを大きく撮るのに効果的な機能で、0.4mまで近づいて撮影することができます。焦点距離が94mmに固定となり、ズーム操作はできません。



活用編

撮影のポイント

- 1m以内で撮影するときは、写したいものをクローズアップAFフレームに合わせてシャッターボタンを軽く押し、(①)、その指をはなさずクローズアップフレーム内で構図を決めて撮影します。(②)



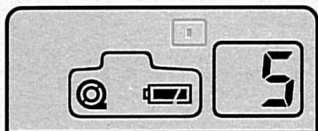
- 0.4mから∞まで撮影できます。暗いときや逆光のときは、ストロボが自動的に発光します。


ベストショットダイアルを使って撮る

SPOT 極端に明るいもの、暗いものを撮る... スポットマーク



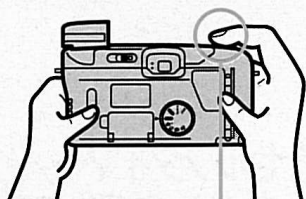
スポットライトに照らされた人物やスキー場の人物などコントラストの強いときに、写したいものだけをシャープに撮ることができます。ファインダーの中央部にピントと露出が合います。



-  が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます。(→39ページ)

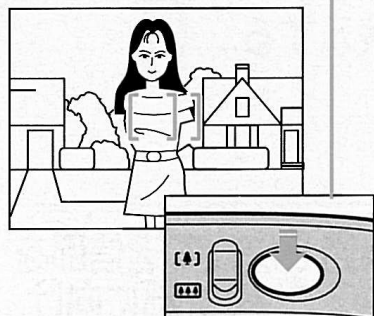
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端に置いて撮影するときはフォーカスロック撮影をします。

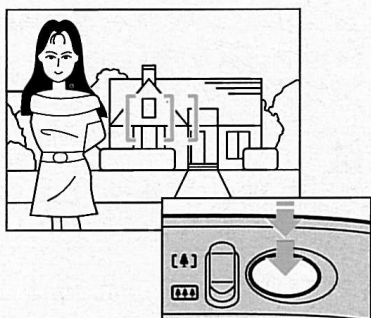



① AFフレームを合わせ シャッターボタンを 軽く押す。

- ➔ピントが合うと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。



② 軽く押したまま 構図を決め、 シャッターボタンを押す。

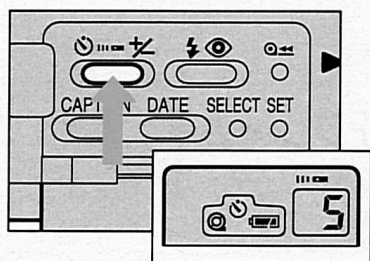



- 構図を決めたあとに写したいものとの距離が変わらないようにご注意ください。
-  アクションマークでは、フォーカスロックできません。

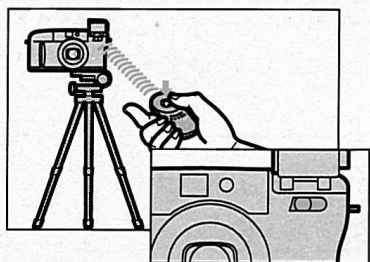
セルフタイマー／リモコンモード

リモコンやセルフタイマーを使うとカメラから離れて撮影することができます。カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚を利用してください。

リモコンで撮影する




- ①セルフタイマー／リモコンボタンを押して  を表示する。




- ②構図を決めて送信部をリモコン受光部に向け、送信ボタンを押す。
→送信ボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、シャッターが切れます。

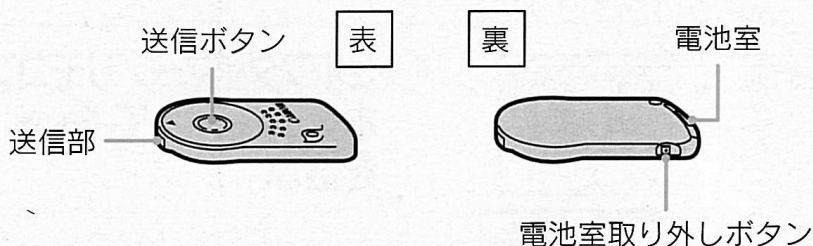
リモコンでの撮影をやめるには

- セルフタイマー／リモコンボタンを押して表示パネルの  を消す。



- リモコン撮影可能な距離は約5m以内です。
- リモコン受光部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
-  が表示されている4分以内に送信ボタンを押せば、続けてリモコンで撮影できます。
- 露出補正もあわせて設定できます (→33ページ)

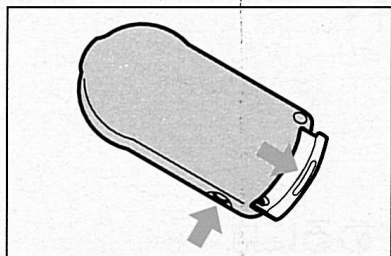
リモコンの各部名称



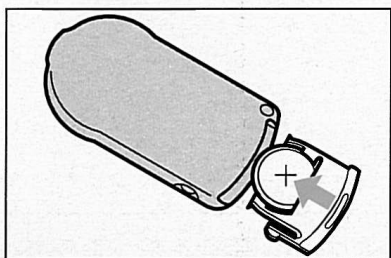
リモコンの電池交換

リモコンでシャッターが切れなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池CR2032 3V、1個



- ① ボタンを押しながら電池室を引き出す。



- ② 新しい電池を入れ、電池室を戻す。

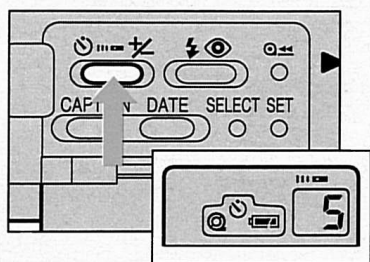
- 古い電池を取り出し、＋を正しく合わせて新しい電池を入れます。



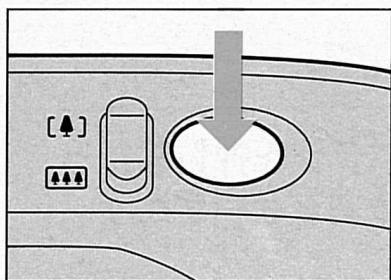
- ケース上部内側のポケットにリモコンを収納できます。

セルフタイマー／リモコンモード

セルフタイマーで撮影する



- 1 セルフタイマー／リモコンボタンを押して を選ぶ。



- 2 構図を決めてシャッターボタンを押す。

→セルフタイマーランプが点灯し(約1回/秒)し、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーでの撮影をやめるには

- セルフタイマー／リモコンボタンを押して表示パネルの を消す。

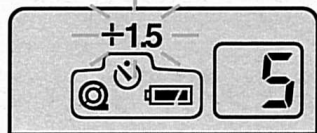
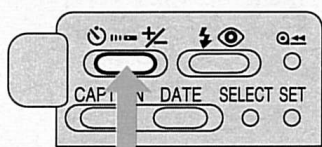


- セルフタイマー撮影のときカメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。
- セルフタイマー撮影は が表示されている約4分間有効です。
- 露出補正もあわせて設定できます。

露出補正モード

このカメラは通常逆光などで背景が明るいとき、写したいものが暗くならず明るくなるように自動露出補正（自動逆光補正）しています。

この露出補正モードでは手動で明るくしたり暗くしたりすることができます。

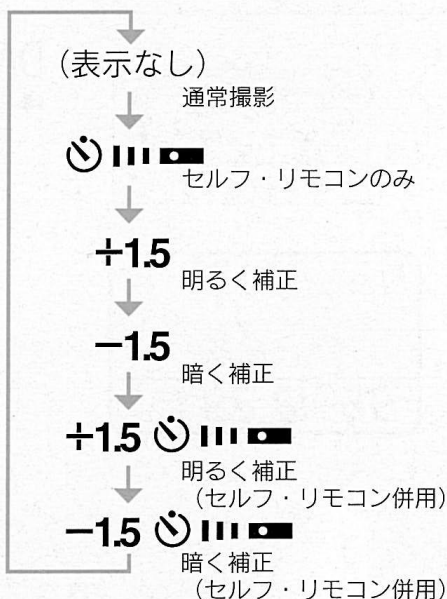


露出補正ボタンを押して、
+1.5または-1.5を点滅させる。

→押すたびに表示が変わります。

- +1.5段露出補正モード
全体を明るく仕上げたいとき、空が画面の大半を占める風景やスキー場、逆光の人物等を撮影するときに効果的です。

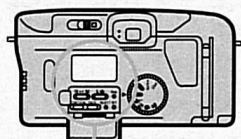
- -1.5段露出補正モード
全体を暗く仕上げたいとき、スポットライトが当たったステージの人物、黒い建物をバックに人物等を撮影するときに効果的です。



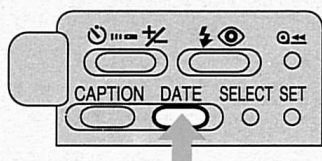
- 露出補正モードでは、自動逆光検知とストロボの自動露出補正は行いません。
- セルフタイマーやリモコンとあわせて使用するときには、 \odot --- +/- ボタンを押し、+1.5 \odot --- 、-1.5 \odot --- 表示にしてください。

日付／時刻を写し込む

撮影した日付や時刻を写真の右下に写し込むことができます。2029年までのオートカレンダーが組み込まれ、撮影のたびに日付をセットする必要はありません。パノラマ写真にも同様に写し込むことができます。



この位置に写し込まれます。



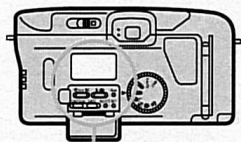
DATEボタンを押す。

→ 押すたびにデート表示が変わります。

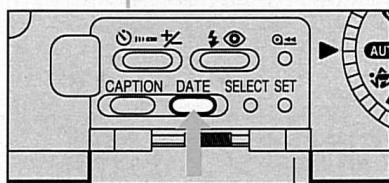


- いずれかを選び、撮影します。
- * 「年月日」表示時は、漢字で96年4月20日と写し込まれます。

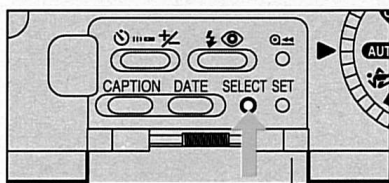
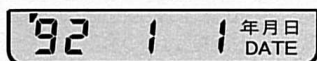
日付／時刻をセットする



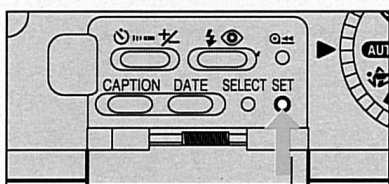
海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときはセットし直してください。



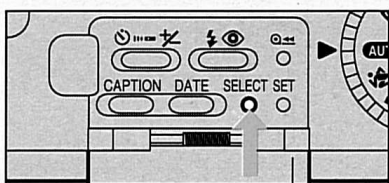
- ① DATEボタンを押す。
● 修正する日付 (又は時刻) を表示させます。



- ② SELECTボタンを押す。
● 修正する数字を点滅させます。



- ③ SETボタンを押す。
● 正しい数字をセットします。



- ④ すべての数字が点灯するまで、SELECTボタンを押す。

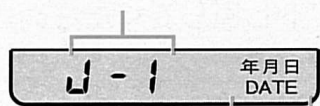


- SETボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「92 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。

メッセージを写し込む

日付／時刻以外にメッセージを同時に写し込むことができます。

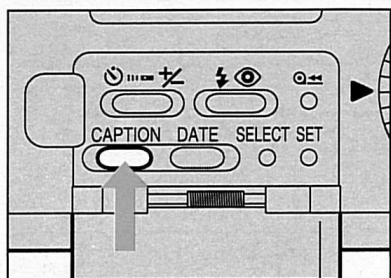
メッセージ表示



デート表示



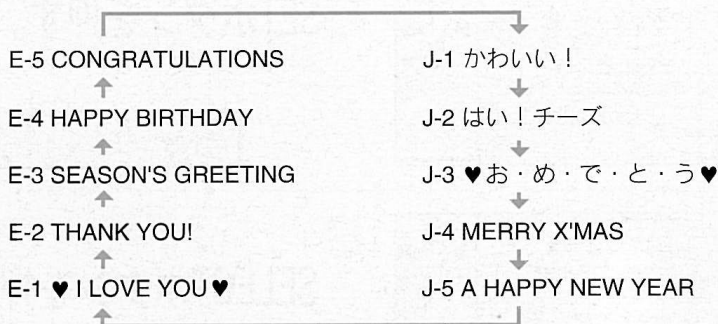
この位置に写し込まれます。



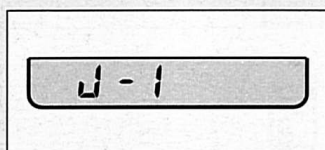
CAPTIONボタンを押す。

→ 押すたびにメッセージ表示が変わります。

日本語のメッセージ

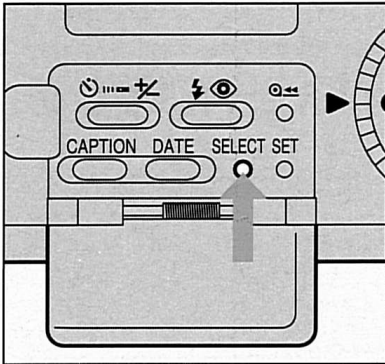


- メッセージだけを写し込みたいときは、DATEボタンを押して、表示パネルの日付写し込み表示を消してからメッセージを選んでください。



- パノラマ撮影でも写し込むことができます。

各国語のメッセージを写し込む



SELECTボタンを押す。

- ➔ 押すたびに日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の順に変わります。
- 国を選んだあとCAPTIONボタンを押してメッセージを選びます。

E - 1

英語のメッセージ

- E-1 ♥I LOVE YOU♥
- E-2 THANK YOU!
- E-3 SEASON'S GREETING
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGATULATIONS

フランス語のメッセージ

- F-1 ♥JE T'AIME♥
- F-2 MERCI!
- F-3 MEILLEURS VŒUX
- F-4 BON ANNIVERSAIRE
- F-5 BRAVO!

ドイツ語のメッセージ

- D-1 ICH LIEBE DICH♥
- D-2 DANKE SCHÖN!
- D-3 EIN FROHES FEST
- D-4 ALLES GUTE!
- D-5 VIELE GRÜSSE

スペイン語のメッセージ

- ES-1 ♥TE♥AMO♥
- ES-2 MUCHAS GRACIAS!
- ES-3 FELIZ NAVIDAD
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

メッセージの写し込みをやめるには

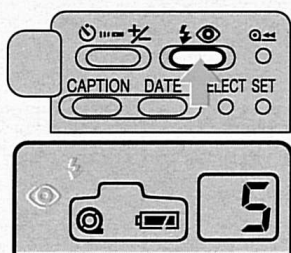
- DATEボタンを押します。メッセージ表示が消えます。



- DXマークのついたフィルムでも、それぞれ12枚、20枚、24枚、36枚撮りのフィルムをお使いください。それ以外の撮影枚数のフィルムでは、フィルムの最後の1枚分のデート、キャプションの写し込み撮影ができなくなることがあります。

ストロボと赤目緩和モードを変える

ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。写したいものや撮影場所に合わせて、撮影モードを選ぶことができます。



ストロボモードボタンを押す。

→表示パネルで確認できます。

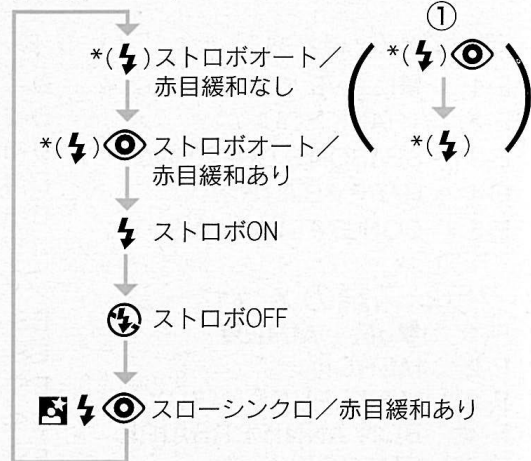
アクションマークのとき



アクション

⚡マークには (👁️) 設定なし

その他のマークのとき



*ストロボオートでは、ストロボが発光する前に ⚡ が表示されます。



- ストロボモードは、ダイヤルを回すと始めに設定されたストロボモードに戻ります。
- ストロボオート 👁️ あり設定後電源を切ると、再び電源を入れたときはストロボオート 👁️ ありに戻ります (①)。
- ⚡マークで始めの設定 (ストロボON 👁️ あり) に戻すときは、ダイヤルを回してください。

ストロボの届く距離（カラープリント用フィルム使用時）

フィルム感度	38mm（広角）	135mm（望遠）
ISO 100	0.6m～7.1m	0.6m～2.9m
ISO 200	0.6m～10.0m	0.6m～4.1m
ISO 400	0.6m～14.2m	0.6m～5.8m

赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といい、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

👁️ 赤目緩和モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで赤目現象の発生を緩和します。



- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間はシャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはストロボモードボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。

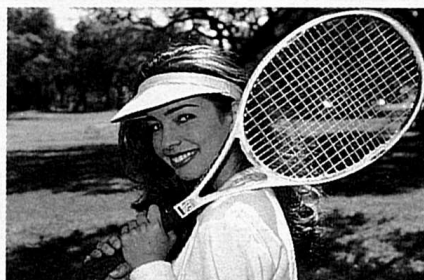
赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影してください。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影してください。
5. 室内はできるだけ明るくしてください。

ストロボONモード.....



撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときは、このモードにします。



ストロボOFFモード.....



撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影をするときは、このモードにします。



- 暗い場所では、シャッタースピードが遅くなるので手ぶれに注意してください。
- 手ぶれ警告でオレンジランプが点滅したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚を利用してください。


ストロボと赤目緩和モードを変える

スローシンクロモード……………



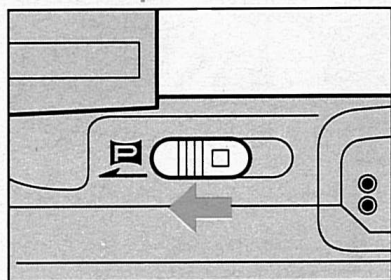
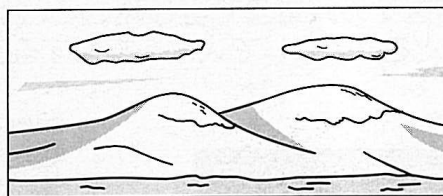
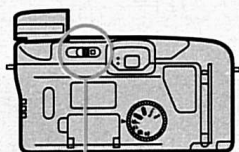
シャッタースピードを低速にすることでストロボの光りが届かない遠くの背景まで写し込むことができます。夕暮れや、夜景などを背景にして人物を撮影するときは、このモードにします。



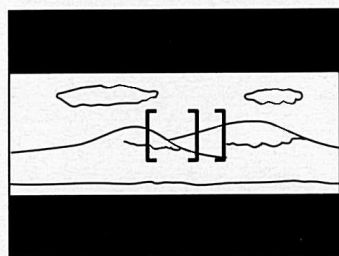
-  が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます (→20ページ)
- カメラはしっかりした台の上に置くか、三脚を利用してください。
- シャッタースピードが遅く (最長約4秒) になりますので、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにするときれいに撮れます。

パノラマモード撮影

風景や集合写真を撮影するときに効果的です。
パノラマモード撮影のときは写したいものから2m以上離れてください。



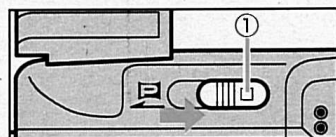
- 1 パノラマ／標準切換ノブをパノラマ側にスライドさせる。
→ファインダー内にパノラママスクが出ます。



- 2 構図を決め、シャッターをきる。

パノラママスク

標準モードに戻すとき





- パノラマ／標準切換ノブのボタン①を押しながら元の位置に戻す。
●パノラママスクが消えます。



- パノラマモードでもメッセージ、日付や時刻を写し込むことができます。

パノラマプリントについて

パノラマサイズで撮影した場合の現像・プリントは、通常の現像・プリントとは異なります。下の表に従って添付のパノラマシールを図のように貼ってください。

	フィルムの使用状況	お店への依頼方法	シール
混在	標準/パノラマサイズの切り換えを行った	パノラマ、標準モードの両方で撮影しました	
パノラマのみ	パノラマサイズのみ使用	パノラマモードで撮影しました	

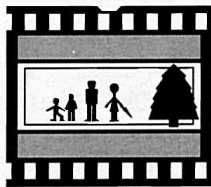
パノラマシール
貼り付け位置



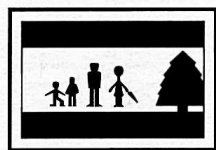
- シールがDXコードおよびバーコードにかからないようにご注意ください。
- パノラマシールが無くなりましたら、裏表紙のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下をカットした形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。



パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモードで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写り込まれます。



- パノラマモード撮影したときは通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかることがあります。
- ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ(89×254mm)に引き伸ばすものです。

■ AiAF機能について

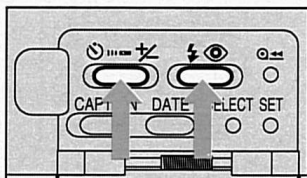
Ai=Artificial intelligence:人工知能、AF=オートフォーカス

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせるところを的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。





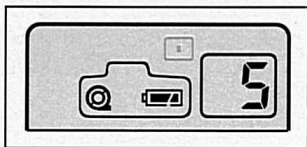
- 写したいものが中央にいないくても、手前に障害物があっても的確にピントを合わせます。このため2人並んでいる写真でピントが背景に合っておきる「中抜け」などを防ぎます。

■ □ 一点測距の設定について



このカメラは通常3点測距AiAFですが、1点測距 □ にもセットできます。
(**AUTO** / **S-AUTO** / マーク時)

⚡  モードボタンと  ボタンを同時に押すと、□ が表示されます。



- 一度 □ を設定するとダイヤルをOFFにしても記憶されています。解除するにはもう一度2つのボタンを押して □ 表示を消します。

こんなときは

「故障かな」と思っても、修理に出す前に、もう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
<ul style="list-style-type: none"> 電池チェックマークが点滅する 	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している 	<ul style="list-style-type: none"> 電池を交換する 	15
<ul style="list-style-type: none"> 電池チェックマークが表示されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 電池がはいついていない 電池が逆向きにはいつている 電池が完全に消耗している 	<ul style="list-style-type: none"> 電池を入れる 電池を正しく入れ直す 電池を交換する 	15 15 15
シャッターが切れない	<ul style="list-style-type: none"> モードダイヤルが OFF になっている。 電池が消耗している フィルムが正しくセットされていない 巻き戻しされたフィルムがカメラに入っている 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件に合わせてモードダイヤルを合せる 電池を交換する フィルムを正しく入れ直す フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする シャッターが切れるまで押し続ける ストロボモードを切り換える 	18, 23 15 16 22, 16 39 38
写真がボケて写っている	<ul style="list-style-type: none"> シャッターを切るときに、AF受光/投光部をおおっている セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ） 	<ul style="list-style-type: none"> 髪や指などでAF受光/投光部をおおわないように気をつける カメラの直前に立たないように気をつける シャッターボタンを静かに押す 	9 32 9
表示パネルに「H」が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> リセット必要時の自己診断表示 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れなおす（点滅が消えないときは）修理にお出してください 	—

主な仕様

- 形式……………ズーム内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
 画面サイズ……………24×36mm (標準サイズ) 13×36mm (パノラマサイズ)
 レンズ……………キヤノンレンズ 38-135mm F3.6-8.9
 焦点調整……………Aiアクティブオートフォーカス
 撮影距離……………通常：0.6m～∞ クローズアップモード：0.4m～∞
 シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
 ファインダー……………実像式ズームファインダー 倍率：広角約0.41倍 望遠約1.44倍
 ファインダー情報……………ファインダー内：撮影範囲枠、クローズアップフレーム、
 パノラママスク、AFフレーム、クローズアップAFフレーム
 ファインダー接眼部……………AF表示ランプ (緑ランプ) /
 FA表示ランプ (オレンジランプ)
 フィルム装填……………自動 (自動空送り付き)
 フィルム巻き上げ……………自動
 フィルム巻き戻し……………自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
 フィルムカウンター……………順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
 フィルム在否確認……………背蓋フィルム確認窓あり
 セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後レリーズ、
 ボディ正面セルフタイマーランプ点滅表示、フィルムカウンター
 に残り秒時カウントダウン
 測光作動範囲 (ISO 100) ……
 全自動モード/ストロボONモード：
 広角：1/60 F/3.6～1/1200 F/15 (約EV9.6～EV18)
 望遠：1/200 F/8.9～1/1200 F/36 (約EV14～EV21)
 ストロボOFFモード/スローシンクロ：
 広角：2秒 F/3.6～1/1200 F/15 (約EV2.7～EV18)
 望遠：2秒 F/8.9～1/1200 F/36 (約EV5.3～EV21)
 夜景モード：
 広角：4秒 F/3.6～1/1200 F/15 (約EV1.7～EV18)
 望遠：4秒 F/8.9～1/1200 F/36 (約EV4.2～EV21)
 フィルム感度……………ISO 25～3200、DXコードにより1段ごとに自動セット

マーク	AF				測光方式	
	AiAF	1点AF	ワンショット	サーボ	3分割	スポット
全自動	●		●		●	
アクション		●		●	●	
夜景	●		●		●	
ポートレート		●	●		●	
クローズアップ		●	●		●	
SPOT スポット		●	●			●

内蔵ストロボ……………低輝度逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
 ストロボ連動範囲… 広角：0.6～7.1m
 望遠：0.6～2.9m
 クローズアップ：0.4～3.4m
 （カラープリント用フィルムISO 100使用時）
 広角：0.6～14.2m
 望遠：0.6～5.8m
 クローズアップ：0.4～6.8m
 （カラープリント用フィルムISO 400使用時）

ストロボ充電時間… 約4秒

ストロボ切り換え… ストロボモードによる

- 1 赤目緩和付きオートモード：低輝度、逆光時自動発光
- 2 赤目緩和無しオートモード：低輝度、逆光時自動発光
- 3 ストロボONモード：常時発光
- 4 ストロボOFFモード：発光禁止
- 5 スローシンクロモード：常時発光

写し込み機能……………方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
 オートカレンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）
 時計機構：常温20度以下で月差±120秒以下

写し込みデータ………デート（4通り）、メッセージ（25通り）

文字形式……………6×7のドットマトリックスによる

写し込みの色……………オレンジ色

電源……………リチウム電池 CR123AまたはDL123A 3V 2個

パノラマモード撮影…パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数……………24枚撮りフィルム 17本（ストロボ50%使用時）

大きさ……………133（幅）×70（高さ）×64.8（奥行）mm

重量……………340g（カメラ用電池別）

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

逆光検知	逆光時の 露出補正	倍率一定	至近距離	給送モード		モード初期状態	
				一枚	連続	ストロボ	赤目緩和
●	●		0.6m	●		AUTO	●
●	●		0.6m		●		
●	●		0.6m	●		スローシンクロ	●
●	●	●	0.6m	●		ON	●
●	●		0.4m	●		AUTO	
			0.6m	●		AUTO	●

アフターサービスについて

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様に
てご負担願います。
- 2 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内
において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお
受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合
と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ
店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示
のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談センター（製品取り扱い方法ご相談窓口）

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

〒060-8522 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）

☎(048) 649-1450

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1（朝日生命千葉登戸ビル1F）

☎(043) 248-6108

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常磐町2-6-8（トーカイビル3F）

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F）

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）

☎(075) 255-5953

〒530-8260 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館）

☎(06) 373-8181

〒651-0096 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F）

☎(078) 291-0535

〒700-0907 岡山市下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエア13F）

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

〒140-0002 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F）

☎(03) 3450-2731

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル）

☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10:00～18:00 梅田：9:30～18:00 その他：9:00～17:30